

(28) 災害が起こったとき、情報が正しいかを見きわめよう

●テーマの背景、解説

災害が起こったとき、流言飛語やうわさ、間違った情報が流されるケースがあります。そんなとき情報に流されずに、その情報が正しいかどうかを見きわめなければなりません。安全を確認したうえで、現場を見て、自分の目で確認することも大切です。

実際、東日本大震災のとき、デマ情報が多く流されました。そうした流言飛語やうわさに惑わされない行動力が求められています。

●事例等の紹介

NHK 放送文化研究所

東日本大震災に見る大災害時のソーシャルメディアの役割

https://www.nhk.or.jp/bunken/summary/research/report/2011_07/20110702.pdf

twitter

ネット上のデマまとめ

https://twitter.com/jishin_dema

●行動目標、学習目標

行動目標	<ul style="list-style-type: none">・災害時に情報の信頼性を見極めて、実際の状況を確認することができる。・災害時に正確な情報源にアクセスし、複数の情報の中から正しい情報をチェックすることができる。
学習目標	<ul style="list-style-type: none">・災害時には信頼出来ない情報が流れることがあることを理解する。

●指導演

所要時間	学習活動	ファシリテーションの観点からの指導上の注意点	ネットリテラシーの観点からの指導上の注意点
導入① 3分	・アニメコンテンツのイントロムービーを見る。	・講師が自己紹介する。 ・イントロムービーを見せ、登場人物を紹介し、親近感を持たせる。 ・参加者それぞれの関心、意欲を引き出す。	
導入② 12分	・自己紹介用のワークシートに記入する。 ・グループごとに自己紹介する。 (名前、学年、好きなアニメ、インターネットをどのように使っているか、インターネットにつながる端末は何を使っているかなど)	・自己紹介用のワークシートに記入させ、参加者に自己紹介させる。 ・双方向のコミュニケーションを行い、参加者それぞれの気づきや経験を元にして話を広げる。	・参加者のインターネットについての知識レベルを合わせる。
導入③ 5分	・災害時のデマ、間違った情報が流れた事例について、講師の説明を聞く。	・学習会の目的を共有して、意識をそろえる。	・学習テーマは「災害が起こったとき、情報が正しいかを見きわめよう」であることを示す。 ・災害時のデマ、間違った情報が流れた事例を紹介する。
展開① 10分	【コンテンツを使った学習】 ・「災害が起こったとき、情報が正しいかを見きわめよう」のアニメコンテンツを見る。	・講師が音読する。 ・必要に応じて参加者がアニメの登場人物のせりふを読ませる。	
展開② 15分	【コンテンツの振り返り】 ・設問に答えながら、自分だったらどのように行動するかを考える。 ・どんな選択肢を選んだか、その理由をグループで話し合う。	・災害時に間違った情報が流れたとき、どのような行動をとったらいいかを考えさせる。ワークシートに記入させる。	・災害時に間違った情報が流れたときの行動について、子どもたちが感じていることを引き出す。
休憩 (10分)			
展開③ 5分	【解説】 注意ポイントを学ぶ。	・解説ページを確認しながら、学んだことを共有する。 ・解説ページの項目を音読させる。	・注意ポイントを解説する。
展開④ 20分	【ディスカッション】 ・災害時に流される情報が正しいかどうかをどのように確認するかを話し合う。		・災害時に流される情報が正しいかどうかを確認させる。
まとめ 15分	【まとめ・振り返り】 ・日常生活の中で、どのように行動していくかを発表する。	・山本家スマホのひけつを確認する。 ・振り返りをするこで、感じたことや気づきを定着させる。	・学習したことを日常生活の中で生かすように促す。 ・「ネット社会を生き抜く力ーインターネットを使いこなす6つのひけつ」を予習・復習するように促す。

●講師シナリオ案

テーマ	講師シナリオ案	発問のポイント
<p>導入① (3分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 皆さん、こんにちは。私は、〇〇です（自己紹介する）。今日は〇〇と呼んでください。よろしくお願いします。 これから「ネット社会を生きる力—インターネットを使いこなす6つのひけつ」という教材を使って学習します。（画面を見てください。「アニメ教材をはじめる」をクリックすると、教材インデックスが表示されます。） 6つのひけつは、「ルールを守ろう」「ネットと上手につきあおう」「自分の身を守ろう」「情報を上手に発信しよう」「コミュニケーション上手になろう」「明日の情報社会をささえよう」に分かれています。今日は、ひけつ6「明日の情報社会をささえよう」の「災害が起こったとき、情報が正しいかを見きわめよう」という教材を使って進めて行きます。 ではここで、皆さんと一緒に学習するキャラクターを紹介しましょう。 Dr.山本は、主人公の山本ショウくんの30年後の姿で、科学者になっています。 すどっちは、Dr.山本が生み出したロボットで、時間を行き来することができます。 それでは、イントロムービーを見てみましょう。 今日の学習に登場するのは、山本ミサキさんと友だちのユイさんです。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材全体の構成を説明する。 参加者それぞれの関心、意欲を引き出す。 アニメコンテンツの登場人物を紹介し、親近感を与える。
<p>導入② (12分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次は、みなさんに自己紹介してもらいます。 自己紹介用のワークシートを用意しました。ここに名前、学年、好きなアニメやキャラクター、インターネットをどのように使っているか、何を使ってインターネットにつなげているかなどを記入してください。 また、この学習会で呼んでもらいたい名前を名札に書いてください。（ワークシート記入 2分） 書けましたか？ それでは、自己紹介をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介をもとに双方向コミュニケーション。 インターネットとどんな関わり方をしているかを対話しながら引き出す。
<p>導入③ (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> さて、最初にお話ししましたが、今日の学習のテーマは「災害が起こったとき、情報が正しいかを見きわめよう」です。 Q みなさんは、インターネット上の情報を信用してしまいませんか。 A 信じる。信じない。 インターネット上には、正しい情報も間違った情報も流されています。 とくに災害が起こったときには、残念ながら間違った情報が流されます。 そんなとき、情報が正しいかどうかを確認する必要があります。 ネット上のさまざまな情報を入手して、それをよく調べるだけでなく、安全を確認したうえで、自分で調べることも大切です。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習のテーマを明確にする。

ネット社会を生きる力
インターネットを使いこなす6つのひけつ

<p>展開① (10分)</p>	<p>【コンテンツを使った学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは早速アニメを見てみましょう。(アニメコンテンツを見せる。) ・登場人物は、ミサキさんとユイさんです。 ・いかがでしたか? ・次は皆さんがミサキさんとユイさんのせりふを読んでみてください。すとっちは私が担当します。 ・アニメーションの最後に、選択肢が出てきます。自分だったらどんな行動をとるか、主人公になったつもりで考えてください。 ・ワークシートを配ります。ミサキさん、ユイさんにとって、何がよかったのかを記入してください。(ワークシート記入 5分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師が字幕を音読する。 ・参加者がせりふを読み、参加意識を高める。 ・ワークシートを配布する。 ・参加者がワークシートに記入しているかどうかを確認する。
<p>展開② (15分)</p>	<p>【コンテンツの振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミサキさん、ユイさんにとって、何がよかったのだったのでしょうか。一緒に考えてみましょう。 ・(3つの選択肢を表示する。) 3つの選択肢はこの通りです。 ・選択肢を選んでください。 ・そしてなぜそれを選んだのか、その理由をワークシート2に記入してください。(ワークシート記入 3分) <p>Q 皆さんはどの選択肢を選びましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①を選んだ人? (挙手) ・②を選んだ人? (挙手) ・③を選んだ人? (挙手) ・意見が分かれましたね。 <p>Q ではまず、①を選択した人の意見を聞いてみましょう。</p> <p>Q ②を選択した人の意見を聞いてみましょう。</p> <p>Q ③を選択した人の意見を聞いてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの選択肢を選んだのかを挙手してもらい、尋ねる。 ・子どもの回答に対して、まず受け入れる。
<p>展開③ (20分)</p>	<p>【ディスカッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に、たとえば皆さんの地域で災害が起こったとき、情報が正しいかどうか、どのように調べるかを話し合ってみましょう。(10分) ・それでは、グループごとに発表してください。(10分) 	
<p>展開④ (5分)</p>	<p>【解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ではここで、今日の学習内容を、解説ページを見ながら整理しておきましょう。 ・①ミサキさんとユイさんは、自治体などの公的な情報を照らし合わせて、複数の情報を確認することの大切さに気づきました。 ・②ミサキさんとユイさんは、まちがった情報が流された原因を調べることの大切さに気づきました。 ・③ミサキさんとユイさんは、自分たちで聞き込みをして確認することの大切さに気づきました。 ・この3つの選択肢はどれも正解です。災害が起こったときは、間違った情報やデマに流されず、冷静に正しい情報を見きわめましょう。 ・それでは、解説ページをみなさんに音読してもらいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解説ページを開く。 ・子どもに音読させる。

ネット社会を生きる力
インターネットを使いこなす6つのひけつ

<p>まとめ・ 振り返り (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none">・皆さん、いろいろな気づきがありましたね。・「ネット社会を生き抜くカーインターネットを使いこなす6つのひけつ」というサイトには、他にもたくさんの教材があります。ひけつのタブをクリックすると項目が次々と出て来ますので、自分一人でも学習することが出来ます。ぜひ試してみてください。・これから皆さんが生きていく中で、ネット上の情報が正しいかどうかを確認しなければならない場面がたくさんあると思います。そんな時は、今日の学習を生かしてインターネット社会を生き抜いて行ってくれたら嬉しいです。・以上で今日の学習会を終わります。ありがとうございました。	<ul style="list-style-type: none">・山本家スマホのひけつを開く。
------------------------------------	---	---